

### !!こんな所に!! 先祖が拓いた農地

#### 尚徳碑

近時建碑之盛行苟有一善一藝之可稱者輒建碑而紀之然有所爲而爲者往往而有之末可遽許似美舉也獨大谷君碑則不然君通稱謙造州海部郡飛鳥人家世農田産頗饒居恒盡心農事殆忘寢食其地佃戸多而田圃少君憂之似私財開大谷新田於鍋田村練出新田東得參拾餘町既而糾合同志開末廣新田於其東南得貳百町於是田圃足而佃戸聚兼設倉倉之洲化爲黍稷或或之田君猶不似爲足更勸蠶桑爲設製絲場功垂成君乃歿明治廿九年五月五日也享年四十有九鄉里鄉黨莫不流涕悼惜爲爾來戸益殖年穀益豐遺棄滯穂利及寡婦頃者兩新田之民相謀曰吾儕所仰事俯畜飽煖卒歲者職君之遺德之由盡立石紀之使子孫勿忘其德乃介某乞余文嗚呼是舉也不於其生前而於既歿廿七年之後其無所爲而爲也審矣豈可不謂美舉哉方今德義陵遲佃主佃戸所在反目甚甚至爭訟紛紛田圃皆蕪當是時有是舉亦足似激貪勸俗奈故不辭而寫之文云

大正十一年歲次壬戌秋九月 尾張淺野哲夫撰 大島徳書



海部郡弥富町大谷新田地内(神明社)

弥富町大谷・末広新田



近ごろ、碑を建てるのが盛んに行われ、いやくも一善一芸有りと呼ぶべき者が安易に碑を建て記念している。しかし、為す所ありて為すべからざるなり。独り大谷にわかに美挙と許すべからざるなり。君は、通称謙造海部郡飛鳥の人、家は代々農業で田圃の産物はすくぶるゆたか、恒に農事に心を尽くし、殆ど寝食を忘る。その他、農家多くて田圃少なり。君はこれを憂い、私財をもつて、鍋田村(弥富町)操出新田の東に大谷新田を開き、参拾余町歩を得る。その上、同志を糾合して、その東南に末広新田を開き二百町歩を得る。これで田圃がたりて、農家が集り、ヨシが青々と茂った。更に養蚕を勧め製糸場を設け、功績なつて、明治二十九年五月五日に歿す。享年四十九。近郷近在の人々で涙を流さぬものな死を惜しまぬはなし。以来、農家は増加し農産物は年々豊かだ。米麦の備蓄がで、利は寡婦に及ぶ。この頃、両新田の民が相談し、今日、吾々が父母につくし遺子を育て何の自由なく暮らせるのは、君の遺徳の由であることを知り石を立てこれを記して、子孫をして、その徳を忘れさせないために、某を介し余に文を乞うあこれの挙なり。その生前でなく既に歿して二十七年の後に於て、そのどうして美挙と言わざるべきや。今、徳義がおとろえ、地主、小作が村で反目し甚しいは、訴訟となり、ごたごたし、田圃は皆荒れんとす。この時にこの挙あり、またこれが文々を励ますことなる。余故に辞さずして

#### 碑文内容

#### 事務局から

◆公共事業等による農地の潰滅について◆  
公共事業用地(道路、河川、学校、公民館、鉄塔敷地等)取得は農地転用の手続きを必要としないため、本土地改良区では、それに起因する区域内の農地(受益地)の潰滅状況を把握することが困難であり、このため、台帳からの除籍が出来ないため引き続き賦課される場合が多い。除籍するには土地改良法第43条による組合員の資格得喪の通知義務に基づく地区除外処理規程により手続きをし所定の決済金を納めていただかなくてはなりません。  
用地買取等の話し合いの時点において、決済金について、事業主体と十分話し合いをされて、どちらが支払うかを決めて、必要な決済を了し台帳から除籍するようお願いいたします。又地目変更をされる場合もこれに準じて処理されます

のでご承知下さい。  
◆配水地(受益地)の所有権、耕作権の異動または組合員の名義変更等をされた場合は土地改良法第43条の規定により組合員の資格得喪の通知を土地改良区にすることが義務づけられておりますので、その都度土地改良区までお届け下さい。届出がないと組合名簿の修正ができないので組合員の皆様にご迷惑をかけることとなりますのでご注意ください。  
◆水難事故防止について◆  
本年も通水時期が間近にせまっております。各小中学校には学童生徒の用水路附近での遊戯について注意していただくようお願いしておりますが組合員の皆様におかれても危険な遊びを見かけましたら注意を喚起していただくようご協力下さい。

# 海部土地改良区本報

表題 吉川 博

昭和63年1月1日発行 No.13  
発行所 海部土地改良区  
所在地 津島市西柳原町1-14  
電話 津島(0567)28-1965  
印刷 城北コピーセンター



於：飛鳥村中央公民館ホール

## 昭和63年の新春を迎えて

新年明けまして、おめでとうございます。 組合員の皆様をはじめ、関係各位には、平素海部土地改良区に対し、ご理解と、ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

62年の配水についても無事終わりました。稲の作柄も良好でありましたことは、管理区長ならびに班長さん方の常日頃のお骨折りのお陰であります。心から感謝申し上げます。

昨年は、竹下内閣発足にあたり、農林水産政務次官を拜命致しました。就任にあたり、盛大な祝賀会を催していただき、また皆様方の真心あふれる記念品と、花束の贈呈等、数々の心づくしを賜り身に余る光栄であります。

このたび、農林水産政務次官に就任出来ましたことは、一重に組合員の皆様方の、温かいご支援のたまものと、深く感謝申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

農政の最重要ポストに就き、内外情勢を見るときこれからの日本の農業は、問題山積し、前途多難であります。皆様方の心からの声援を支えにして重責を全うする覚悟しておりますから、今後とも一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますと共に、組合員の皆様におかれましても、健康で、ご活躍されますようお祈り申し上げて、新年のあいさつといたします。



理事長 吉川 博

# 年 頭 の 御 挨拶

愛知県農地林務部長 白 浜 明

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

平素は土地改良事業の推進につきまして、皆様方の格別の御理解と御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

理事長の吉川先生におかれましては、卓越した指導力と巾広い御見識をもって、昨秋農林水産政務次官の要職に御就任されましたことは、組合員の皆様にはこの上なく喜ばしいことであり、同時に土地改良事業を担当する私共にとりましても最大の喜びであるわけでございます。

木曾川に育まれ肥沃な穀倉であります本地域は、木曾川用水によって着実に農業経営の安定と向上が図られておりますが、これも組合員の皆様方の御努力の賜と心から敬意を表する次第でございます。

最近の農業をめぐる社会経済情勢は、消費の伸び悩みや価格の低迷、また諸外国からの市場開放要求など内外共に一段と厳しさを増しておりますが、本地域の農業生産の一層の向上と農地の保全を図るため、抜本的排水対策として国営尾張西部排水事業が順調に推進されておりますことは誠に心強く思うところでございます。

また、海部土地改良区の並々ならぬ御協力により、昨秋弥富町に東海農政局尾張西部農業水利事業所が開設され、今後一層の事業促進が望まれるところでございます。

県としましては、本事業並びに関連事業であります湛水防除事業や地盤沈下対策事業の促進に鋭意努力して参りますとともに、木曾川用水の円滑な管理運営に尚一層の努力を傾けていかなければならないと決意を新たにしているところでございますので、今後とも組合員の皆様方の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、海部土地改良区の益々の御発展と皆様方の御多幸を祈念しまして新年の御挨拶といたします。

# 年 頭 の ご 挨拶

海部農地開発事務所長 古 江 驥 郎

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、吉川理事長様の農林水産政務次官ご就任、また当改良区におかれましては、土地改良事業の功績による団体表彰の銀賞受賞と、お喜びの重なるまことにおめでたい年でございます。

本年、木曾川用水の管理もはや6年目に入りましたが、皆様のご努力で、着々とその成果も上がり、ご同慶にたえません。最近では、毎年のように、日本中のどこかで渇水騒ぎが起こっておりますが、当木曾川用水地域では全くその心配もなく、豊かなみりを迎えておられます。

木曾川用水事業の完成と、組合員の皆様、水は貴重であることを認識され、水の効率的な使用に努力されている結果だと思えます。

米価の切り下げ、農産物の過剰供給等、農業をめぐる情勢は極めて厳しい中において、土地改良事業を重視する声が、とみに高まっております。

昨年来、国の公共事業拡大策により、土地改良事業の進捗も一段と拍車がかかっておりますが、私共海部農地開発事務所としましては、地域の農地防災対策を中心に、農村環境の整備等、農業基盤整備事業の推進に、さらに努力してまいり積りであります。

皆様の倍旧のご指導、ご協力をお願いします。

最後に、海部土地改良区の益々のご発展と、理事長様始め皆様方のご多幸をご祈念しましてご挨拶といたします。

# 新年のごあいさつ

水 資 源 開 発 公 団 木 曾 川 用 水 総 合 管 理 所 所 長 河 嶋 幸 夫

海部土地改良区の皆様には、昨年秋吉川理事長の農林水産政務次官に御就任の喜びに引続いて、輝かしい希望にあふれた新春を迎えられ、まことにおめでとうございます。この二重・三重の喜びを私共木曾川用水総合管理所職員一同も皆様とともにわかちあうことができましてを光榮に思っております。

最近国土庁において昭和75年を目標年次とする「ウォータープラン 2,000」という長期水需給の見通しと、その対策などが策定されました。安定した水供給体制を確立することは当然の課題ですが、いま一つの特徴として水のもつ多面的な価値を再認識しなければならないといっています。21世紀に向けて「ゆたかさ」「うるおい」「やすらぎ」がキーワードになっている今日、これらを人と水とのかかわりあいのなかに求めようとしています。まさに「新しい水の時代」の到来です。

農村においては、生産と生活が同一の空間や資源を複合的に利用して営まれており、田畑や用水路は自然とのふれあい空間を創り出し、景観の保全等の役割をも果たしています。このように農村地区における水は、緑の資源、生産のための資源、観光・文化資源とともに自然環境の保全等を支える基本的な地域資源としての機能もっています。

人と水とのかかわりあいの場を求める声が高まるなかで、このような農業用水のもつ役割が今後益々強まること予想されますので、私共も皆様とともに新しい水の時代への対応を考えていきたいと思っております。

最後に海部土地改良区の益々の御発展と皆様方の御多幸を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

# § 土地改良功労者表彰受賞 §



日 時：昭和62年 3 月 24 日 (火) 午後 2 時 30 分  
場 所：東京都千代田区平河町 2 丁目 7 番 4 号  
砂防会館ホール

全国土地改良事業団体連合会主催の第28回  
土地改良功労者表彰に当り、昭和57年 3 月の銅賞  
表彰に続いて、栄ある団体銀賞を受賞しました。  
これは組合員の皆様のご支援、ご協力の賜であり  
謹んで御報告申し上げます。

# !! 吉川理事長が農林水産政務次官に就任!!

先の竹下内閣誕生に当り、当土地改良区理事長である吉川博参議院議員が昭和62年11月10日に農林水産政務次官に御就任されました。まさに土地改良事業に精通された理事長におかれましては最適任の御要職と存じ上げます。皆様と共に御慶び申し上げたいと思います。

# 昭和62年度臨時総代会

昭和62年11月14日午前10時30分から海部津島土地改良会館3階会議室において開催、次の第10号議案から第17号議案まで原案どおり可決されました。

- 第10号議案 昭和61年度一般会計収支決算書並びに事業経過報告承認について
- 第11号議案 昭和61年度決済金積立金特別会計収支決算書承認について
- 第12号議案 昭和61年度職員退職給与積立金特別会計収支決算書承認について
- 第13号議案 昭和61年度木曾川用水事業償還金積立金特別会計収支決算書承認について
- 第14号議案 昭和61年度維持管理基金特別会計収支決算書承認について
- 第15号議案 昭和61年度財産目録の承認について
- 第16号議案 昭和62年度一般会計収支補正予算について
- 第17号議案 昭和62年度決済金積立金特別会計収支補正予算について



## ▼昭和61年度決算▼ (昭和62年11月14日承認)

### 一 般 会 計

(単位：円)

| 収 入     |             | 支 出       |             | 摘 要                              |
|---------|-------------|-----------|-------------|----------------------------------|
| 科 目     | 決 算 額       | 科 目       | 決 算 額       |                                  |
| 組 合 費   | 419,382,290 | 事 務 所 費   | 82,063,969  | 収支差引残高 40,173,589円<br>(翌62年度へ繰越) |
| 補 助 金   | 5,387,000   | 選 挙 費     | 0           |                                  |
| 使 用 料   | 62,803      | 事 業 推 進 費 | 8,024,795   |                                  |
| 県 負 担 金 | 104,673,369 | 事 業 費     | 13,803,170  |                                  |
| 交 付 金   | 6,300,000   | 維 持 管 理 費 | 30,591,446  |                                  |
| 寄 付 金   | 13,280      | 償 還 金     | 272,321,000 |                                  |
| 繰 入 金   | 34,496,000  | 負 担 金     | 164,656,003 |                                  |
| 借 入 金   | 5,599,000   | 抛 出 金     | 3,495,000   |                                  |
| 雑 収 入   | 4,845,191   | 繰 出 金     | 32,400,000  |                                  |
| 繰 越 金   | 36,877,009  | 還 付 金     | 106,970     |                                  |
| 管理協力費   | 30,000,000  | 予 備 費     | 0           |                                  |
| 計       | 647,635,942 | 計         | 607,462,353 |                                  |

### 決 済 金 会 計

(単位：円)

| 収 入   |            | 支 出   |            | 摘 要                             |
|-------|------------|-------|------------|---------------------------------|
| 科 目   | 決 算 額      | 科 目   | 決 算 額      |                                 |
| 決 済 金 | 15,434,490 | 還 付 金 | 183,071    | 収支差引残高 2,830,064円<br>(翌62年度へ繰越) |
| 繰 入 金 | 5,096,000  | 積 立 金 | 33,890,000 |                                 |
| 雑 収 入 | 38,655,033 | 繰 出 金 | 20,496,000 |                                 |
| 繰 越 金 | 3,812,612  | 貸 付 金 | 5,599,000  |                                 |
| 計     | 62,998,135 | 計     | 60,168,071 |                                 |

## 職員退職給与積立金特別会計

(単位：円)

| 収 入   |            | 支 出       |       | 摘 要                              |
|-------|------------|-----------|-------|----------------------------------|
| 科 目   | 決 算 額      | 科 目       | 決 算 額 |                                  |
| 繰 入 金 | 2,400,000  | 退 職 給 与 金 | 0     | 収支差引残高 20,612,460円<br>(翌62年度へ繰越) |
| 雑 収 入 | 847,149    |           |       |                                  |
| 繰 越 金 | 17,365,311 |           |       |                                  |
| 計     | 20,612,460 | 計         | 0     |                                  |

## 木曾川用水事業償還金積立金特別会計

(単位：円)

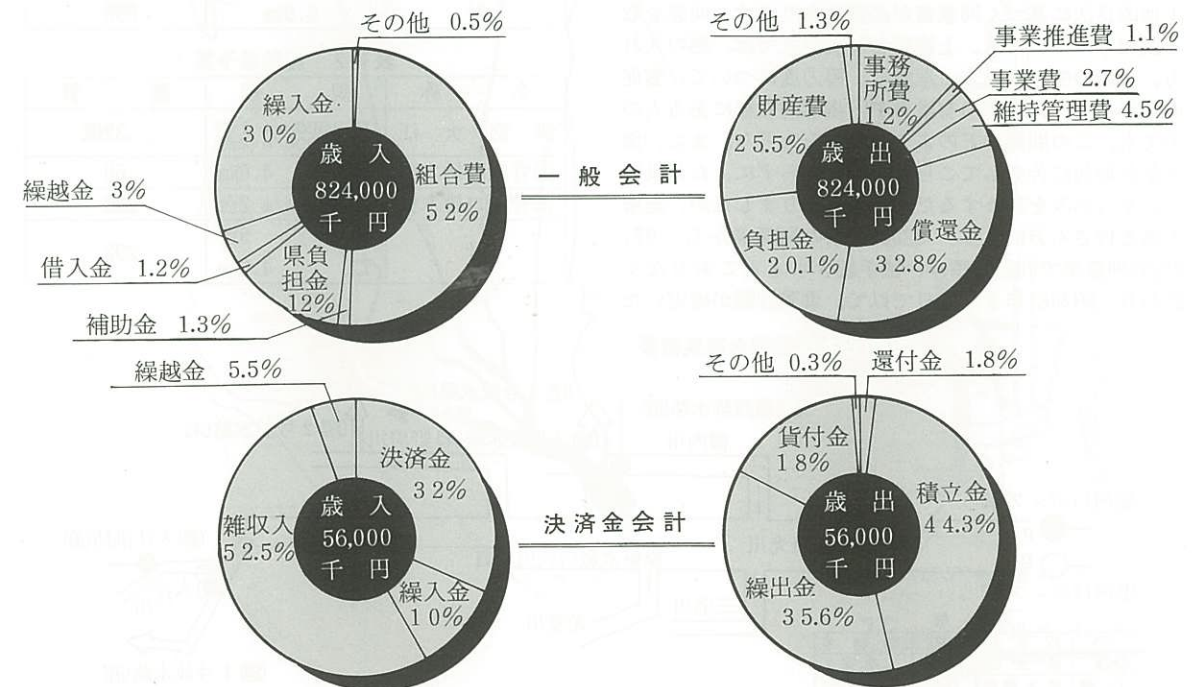
| 収 入   |             | 支 出   |             | 摘 要       |
|-------|-------------|-------|-------------|-----------|
| 科 目   | 決 算 額       | 科 目   | 決 算 額       |           |
| 雑 収 入 | 20,870,652  | 積 立 金 | 402,921,499 | 62年度へ積立繰越 |
| 繰 越 金 | 382,050,847 |       |             |           |
| 計     | 402,921,499 | 計     | 402,921,499 |           |

## 維持管理基金特別会計

(単位：円)

| 収 入   |             | 支 出   |             | 摘 要                |
|-------|-------------|-------|-------------|--------------------|
| 科 目   | 決 算 額       | 科 目   | 決 算 額       |                    |
| 雑 収 入 | 17,601,850  | 繰 出 金 | 14,000,000  | 一般会計へ<br>62年度へ積立繰越 |
| 繰 越 金 | 302,105,689 | 積 立 金 | 335,707,539 |                    |
| 繰 入 金 | 30,000,000  |       |             |                    |
| 計     | 349,707,539 | 計     | 349,707,539 |                    |

## ▼昭和62年度予算▼ (昭和62年3月23日可決)



# 国営尾張西部 土地改良事業について

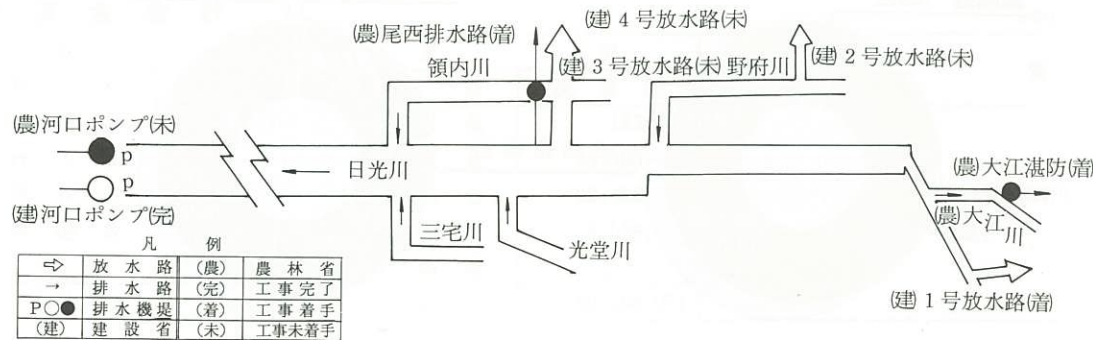
## (事業の発足)

尾張西部地域は、木曾川の堆積土砂で出来た、低い平たんな土地で、地味は肥沃で、農地としては最も適し、かんがい用水は、木曾川の豊富な水に恵まれて、昔から主要な穀倉地帯として知られております。ただ土地が低いがために、排水には年中悩まされ、湛水による被害で、生活そのものが脅かされることがしばしばであります。

近年地盤沈下の影響で、目に見えて浸水の危険が増大しております。部分的には、排水機の増設により被害が防止される、と、されても全体的には危険は解消されたことになりません。一日も早く抜本的な排水対策を実施しなければと、数年前から吉川先生を中心に声を高め、関係の市町村、主な土地改良区等を通じて啓蒙をしたが、日光川を流域とする一帯は、自然排水の出来る上流部と、機械排水に頼らなければ排水が出来ない下流部とは、条件が異なるために、流域全体を一本にまとめるのに、相当の苦労があったが、関係25市町村と、12の主な土地改良区がまとまり、国営尾張西部土地改良事業を推進する母体として、尾張西部排水対策推進協議会の設立総会が、昭和59年10月27日に、海部郡美和町立中央公民館で盛大に催されました。推進協議会長に海部土地改良区理事長吉川博氏が、万場一致で選出されました。

協議会の設立と同時に、事業採択の基本であります、土地改良法に基づく同意書が必要であります。同意を取る段取りについても、上流部と下流部とは、熱の入れ方、一般の受け止め方、理解度、協力度について、雲泥の差があった。一部の有識者や、指導的立場にある人の中でも、この問題がどのような経過をたどり、また、諸先輩が如何に苦勞してこられたかも知らずに、ただ批判と、やっかみを云々するだけの人もありましたが、理解のある皆さん方により、32000人余の関係者から、97.3%の同意率で同意を頂き、法手続きもとどこおりに終わり、昭和61年8月8日にて、事業計画が確定いた

図 日光川水系全体の排水事業概要



しました。

昭和61年9月20日に海部郡飛鳥村中央公民館におきまして、盛大に起工祝賀式が催されまして、現在工事が進められております。

## (事業計画)

この事業はもともと昭和49年8月に作成された、尾張西部地域総合排水事業計画書の中に建設、農林両省それぞれに持分を決め都市部門、農業部門と分けて計画が盛り込まれている。都市部門では、日光川をはじめとする中小河川の改修及び、日光川河口の排水機場の設置、農業部門では、基幹的な用水対策として、濃尾用水、木曾川総合用水事業と、日光川河口排水機の新設が位置付けられて計画された。

時の経過と共に、事業計画の内容も変更され、昭和53年度でいて県土木部施工により日光川河口に排水機場が新設された。この工事を実施するに当たって、二度手間と無駄を省くために敷地造成と、名四国道下をくぐる吐出口については、2機場分の工事施工が同時に行われた。従って、今回の事業は既に造られている敷地の中で1機場の増設と、新たに計画された、日光川の上流部に於てショートカットをして直接木曾川へ放流する放水路が建設、農林それぞれの予算で実施されています。

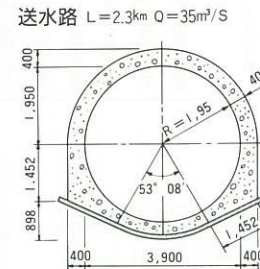
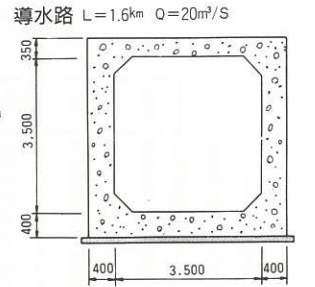
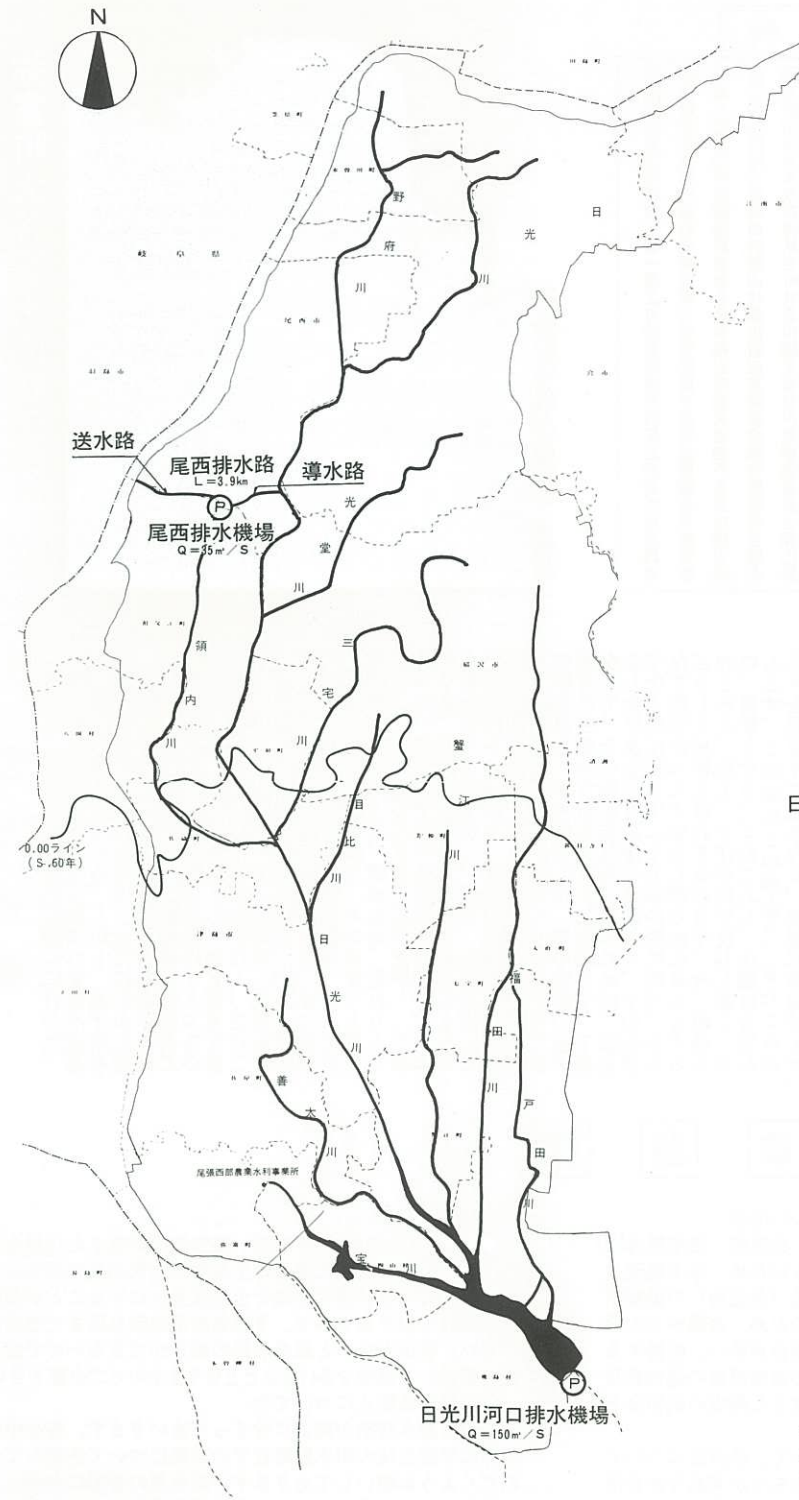
表-1 建設省予算

| 水路名     | 延長    | 概算   |
|---------|-------|------|
| 1号放水路   | 3.5km | 130億 |
| 2号放水路   | 1.1km | 160  |
| 3号4号放水路 | 4.0km | 300  |
| 計       | 8.6km | 590  |

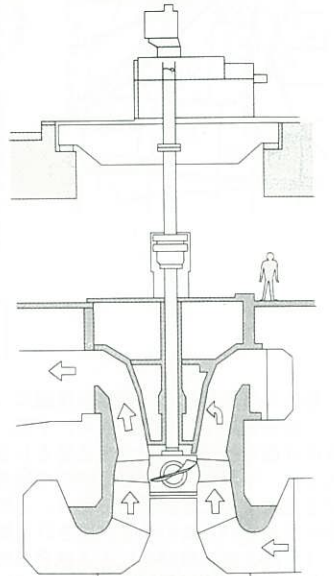
表-2 農林省予算

| 名称      | 規模                          | 概算  |
|---------|-----------------------------|-----|
| 湛防大江    | P. 1500m/m 1台<br>1200m/m 2台 | 32億 |
| 国営尾西排水路 | 延長 4.0km                    | 60  |
| 国管河口排水機 | P. 4600m/m 2台               | 200 |
| 計       | P. 5台<br>L. 4.0km           | 292 |

## 計画一般平面図



日光川河口排水機場ポンプ模式図



ポンプ1台当り排水量は1秒間にタンクローリー

7.5台分 10m³タンクローリー